

児童デイサービスそだち 支援プログラム 見直し日：令和8年1月26日

法人理念	<p>「くらし いきいき」</p> <p>社会福祉法人慶育会は、法令を遵守（コンプライアンス）し、地域福祉を基本におき、地域にお住まいの方や障害をお持ちの方、また支援が必要な方に寄り添い、一人ひとりがその人らしい生き活きとした暮らしができるよう豊かな心と強い信念をもって総合的な支援に当り、誰もが安心して暮らせる福祉サービスを目指します。</p>		
支援方針	<p>① 「発達支援」子どもたちが日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応することができるよう支援するとともに、「いきいき生活していくために重要な「生活力」「がんばる力」「自尊心」を育めるよう丁寧な支援を行っていきます。</p> <p>② 「家族支援」障がいの受容、子どもの状態への困り感、そして将来への不安を抱える家族に対し、一緒に考え寄り添っていくことを目指します。</p> <p>③ 「各関係機関との連携」保護者を介して各関係機関と情報共有等の連携をしながら、子どもが持つ力を発揮できるよう見守っていきます。また移行時期には情報提供することでスムーズな移行を目指します。</p> <p>④ 「チームワークと自己研鑽」職員が得意分野をいかし学びあえるチームを目指します。また自己研鑽により更なる支援力をアップしていきます。</p>		
営業時間	8：30～17：30	送迎実施の有無	有（要相談）

時間	日課 (プログラム)	支援内容	5領域
9:00	登園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の健康状態、睡眠、検温、生活リズムの把握、確認を行う。 ・ 生活に必要な基本的動作（身支度、排泄、手洗い、衣類の着脱、身の回りを清潔にすることなど）を獲得できるよう、個々に応じた（年齢、発達段階、障害特性など）支援を行う。 	健康・生活
	健康チェック 身支度 排泄・手洗い		運動・感覚
	遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や体の使い方の習得のための支援を行う。 	認知・行動
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の認知特性やこだわりを理解し、個々に応じた基本的動作への支援を行う。 	言語・コミュニケーション
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々に応じたコミュニケーション手段（表情や身振り、アイコンタクト、写真・絵カード等）を用いて挨拶、意思のやりとり等の支援を行う。 ・ こどもが基本的な信頼感を持てるように、環境・人に対する信頼感、そしてそれらが自分に対する信 	社会性・人間

		<p>頼感につながる支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通じて人への興味が芽生えたり模倣することにより社会性、対人関係の芽生えを支援する。感覚遊び、運動遊び、ごっこ遊びやルールある遊びなど社会性の発達を支援する。 	関係
9:50	身体ほぐし	<ul style="list-style-type: none"> ・体操・運動により人の動きを真似し、姿勢保持や体の使い方の習得のための支援を行う。体と心が目覚め、よりさわやかな気持ちで一日をスタートする。 	運動・感覚
10:10	朝の会	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活スキル「排泄」「着替え」「手洗い」などについて、絵本やペープサートなど教材を用いながらわかりやすく伝える。 	健康・生活
		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状態に合わせた、姿勢保持についての支援を行う。(子どもに合わせた椅子・テーブル、足型、朝の会に動きを取り入れるなど) 	運動・感覚
	排泄・手洗い	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の認知特性を把握し、環境設定、教材の工夫を行う。 ・物の機能や属性、形、色、音が変化の様子、空間・時間の概念の形成を図る。数量、大小、色などの習得のための支援を行う。 	認知・行動
		<ul style="list-style-type: none"> ・具体的・身近な事物や体験、感情などと言葉の結びつきが理解できるよう支援する。言葉の習得、発声を促し発話へとつなげていく。指さし、身振り、サインを含めたやりとり場面を設定し表現することの機会を作る。読み書き支援を行う。 	言語・コミュニケーション
		<ul style="list-style-type: none"> ・手遊びや興味ある教材を用いて人の動きを模倣することの支援を行い社会性や対人関係の基礎を養う。 ・集団に参加するためのルールを学び、参加できるよう支援する。 	社会性・人間関係
10:45	戸外活動 お散歩 (短中距離) 遊具遊び 公園遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の健康状態、睡眠、検温、生活リズムの把握、確認を行う。 ・安全に遊具等で遊ぶことを知らせる。 	健康・生活
		<ul style="list-style-type: none"> ・歩く、走る、くぐる、ジャンプする、のぼる、ぶらさがるなど全身を使った動き、手足を連動させる動きの獲得のため、遊びの中で支援する。 	運動・感覚
	排泄・手洗い	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールある遊びを取り入れ、言葉と視覚的にわかりやすく示し、興味や意欲を育み経験を重ねる。 	認知・行動
		<ul style="list-style-type: none"> ・手をつないでお友達のペースを意識しながら歩くことや、競争、順番、交代、その他やりとりを交えて心地よい関わりを持てるよう支援する。 	言語・コミュニケーション
		<ul style="list-style-type: none"> ・一人遊びから並行遊び、連合的な遊び、協同遊びを通して、社会性の発達を支援する。 ・気持ちや動きのコントロール、終わりの見通しをもって行動することを支援する。 	社会性・人間関係

11:45	給食	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の健康状態、睡眠、検温、生活リズムの把握、確認を行う。 ・食育を取り入れ、教材を用いながら食への興味関心を育てる。 	健康・生活
		<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢を保持しながら食器を持つ・支えて道具を使用するなど、段階を踏んでマナー、姿勢、普通箸への移行などをすすめる。 	運動・感覚
	排泄・手洗い	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性を理解し子どもに合わせた教材を用いたり、偏食の支援を行う。 	認知・行動
		<ul style="list-style-type: none"> ・おかわり、減らしてなど子どもに合わせた教材を用いながら自発的な意思伝達手段を支援する。 	言語・コミュニケーション
		<ul style="list-style-type: none"> ・大人やお友達と一緒に楽しい雰囲気の中で食べることの心地よさを味わったり、時間を意識して食べることの支援を行う。 	社会性・人間関係
12:30	遊び 午睡	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の健康状態、睡眠、検温、生活リズムの把握、確認を行う。 ・安全におもちゃ等で遊ぶこと、午睡することの環境を用意する。 	健康・生活
		<ul style="list-style-type: none"> ・好きなおもちゃ遊びで手先を使ったり、トランポリンなど体を使った遊び、感覚遊びを行い楽しみながら遊び方を知る、経験を重ねる。 	運動・感覚
	排泄・手洗い	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの興味関心が広がったり、特性を理解した関わり、おもちゃでの遊び方を学べるよう支援する。 	認知・行動
		<ul style="list-style-type: none"> ・大人や子どもと遊びを通して、言葉やジェスチャー・アイコンタクトでのコミュニケーションを図れるよう支援する。 	言語・コミュニケーション
		<ul style="list-style-type: none"> ・大人や子どもと遊びを通してルールを学びながらやりとりしたり、感覚・運動遊びから象徴遊び、一人遊びから協同遊びへの支援を行う。 	社会性・人間関係
14:00	リズム遊び おやつ 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の健康状態、睡眠、検温、生活リズムの把握、確認を行う。 	健康・生活
		<ul style="list-style-type: none"> ・リズム・即時反応などを体感しながら音楽をみんなと一緒に楽しめるよう支援する。歌に合わせて全身、手先を動かし、運動機能を高められるよう支援する。 	運動・感覚
		<ul style="list-style-type: none"> ・音への過敏さがある場合は配慮しながら、特性に配慮し集団活動を楽しめるよう支援する。音を聞いて集合し、椅子や床に着席する。 	認知・行動
		<ul style="list-style-type: none"> ・偏食に配慮しながら、様々な食に触れ、食べられるものを増やす。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に触れる中で人と関わることの心地よさ、安心感を育む。様々な身体表現を通し、楽しい気持ちを 	言語・コミュ

		<p>表現する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音やリズムに合わせて発声、言葉を発したり、口ずさむ、歌う、体で表現する経験を重ねる。 	ニケーション
		<ul style="list-style-type: none"> ・音楽と一緒に楽しむ心を育む。 ・音やリズムを聞いて大人・子どもに合わせることや協力することを学ぶ。 ・約束を理解し自分で判断する力を養う。 	社会性・人間関係
15:00	引継ぎ/お帰り	「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「社会性・人間関係」に沿いながら、保護者にわかりやすく具体的に支援内容・子どもの状況を引き継ぐ。	
		家族支援	
		<ol style="list-style-type: none"> ① 家族のレスパイトの時間の確保や就労、きょうだい育児、個別療育等による預かりニーズに対応するための延長支援を行っています。 ② そだち参観による支援場面を通じた学びの機会の提供、相談援助を行っています。 ③ 個別で家族相談（きょうだい支援も含む）に応じています。 ④ グループで家族相談（主にペアレント・トレーニング。保護者同士、放課後等デイびび保護者との交流機会等）を計画しています。 ⑤ 法人行事へ家族単位でご招待し、きょうだい同士の交流の機会の提供等を行います。 ⑥ その他、いつでも相談に応じています。 	
		移行支援	
		<ol style="list-style-type: none"> ① 就学の移行時期には、引き継ぎ書を家庭と一緒に作成し、少しでもスムーズに移行できるよう、学校、放デイ、学童など関係機関へお渡し引継ぎをします。 ② 保育所等への移行支援の際にも、現在の支援状況をまとめ情報提供書として関係機関へお渡しします。 ③ 併行利用先との連携（こどもの状態や支援内容の共有、利用日数等の調整）を行います。 	
		地域支援・地域連携	
		<ol style="list-style-type: none"> ① 併行利用先と情報を共有するため定期的なサービス担当者会議（訪問など）を行い、お子さんのスムーズな生活につなげられるよう努めています。 ② こどもが利用する障害児相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、他の障害児通所支援事業所との生活支援や発達支援における連携を行います。 	

	<p>③ 必要に応じて、こどもを担当する保健師や、こどもが通う医療機関、児童相談所等関係機関との情報連携を行います。</p> <p>④ 保育園交流は年に4回程度あります。同法人の保育園へ、トーマスバスに乗って園児との交流をしています。</p> <p>⑤ 法人行事の真夏の夜の集いでは、地域の方も招待し交流の場を提供しています。</p>	
	<p>職員の資質向上</p>	
	<p>① 法人内研修への参加</p> <p>② 外部研修への参加</p> <p>③ 自己研鑽の推進（自己啓発ノートの活用）</p>	
	<p>主な行事等</p>	
	<p>4月： イースターごっこ遊び、クッキング</p> <p>5月： 子どもの日集会&相撲大会、すいか植え、創立記念式典、保護者会、公園遊び（お弁当持ち）</p> <p>6月： 虫歯予防デー、図書館見学、保育園交流、クッキング</p> <p>7月：七夕会、洗濯遊び、シャワー&ミスト、プール開き、野菜収穫体験、保育園交流、パパママ会（放課後等デイびび保護者との交流）</p> <p>8月：水遊び・プール遊び、シャボン玉遊び、保育園交流</p> <p>9月：防災デー、お月見集会、保育参観～12月まで、パパママ会（ペアレント・トレーニング）</p> <p>10月：公園遊び&お買い物体験、ハロウィーン仮装、クッキング、パパママ会（ペアレント・トレーニング、DVD視聴会）</p> <p>11月：年長児外出体験、慶育会秋まつり、パパママ会（ペアレント・トレーニング）</p> <p>12月：クリスマス会、大掃除ごっこ、映画鑑賞会、おもちつき見学</p> <p>1月：お正月遊び（たこあげ、コマ回し、福笑いなど）</p> <p>2月：節分（豆まき）、真壁のひな祭り見学、保育園交流、パパママ会（教育委員会、特別支援学校の先生方のお話）</p> <p>3月：ひなまつり集会・会食、卒園会、お別れ会</p>	